

かしまち くにさきし
熊本県嘉島町・大分県国東市行政視察研修

平成 28 年 4 月に発生した熊本県地震の嘉島町の復旧及び復興状況についてと、国東市の安国寺集落遺跡と世界農業遺産「旭日のため池」等について、2 月 18 日から 20 日まで視察研修を行いました。

嘉島町では、役場庁舎の会議室において、4 月 14 日（震度 6 弱）・16 日（震度 6 強）に発生した熊本県地震の被害状況・対応状況及び震災対応の検証・課題等について説明を受け、質疑応答しました。



災害対応は、町民会館に避難所を開設したが、建物の 2,257 棟が全壊・半壊し、避難者が急増したので避難所を町民体育館に変更した。屋外避難者を含めて避難者数は、約 3,000 人になり、本震直後、各行政区において公民館を自主避難所として開放し自主運営が行われた。

大規模災害において「公助の限界」があるため、地域コミュニティにおける「自助・共助」の促進・啓発が、災害対応やより良い復興に不可欠である。地震災害対策会議を開催し、必要な物質の種類・数量の把握や、配布方法の確認等、自主避難所と災害対策本部の連携を図ることが、地域への情報発信としても有効となる。



災害ゴミ置き場



支援物質の管理



公民館の自主避難所

国東市の弥生時代のムラや豊かな環境を復元した安国寺集落遺跡公園の歴史体験学習館で、農耕と木製農具、安国寺式土器、ムラの形成と高床建物等について説明を受けた。



国際連合食糧農業機関の世界農業遺産に認定された。地域の「ため池群」の特徴である、連携ため池を中心とした水利システムについて説明を受けた。

